

研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院、野近眼科医院、さいとう眼科医院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：リパスジル塩酸塩水和物・プリモニジン酒石酸塩配合点眼液による眼圧下降効果の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年12月1日から2023年7月31日までに昭和大学病院附属東病院、野近眼科医院、さいとう眼科医院において外来受診での緑内障に対してリパスジル塩酸塩水和物・プリモニジン酒石酸塩配合点眼液を処方されたかた

2. 研究目的・方法

近年緑内障の眼圧下降薬とアドヒアランスの低下を避けるべく配合剤点眼が増えている。リパスジル塩酸塩水和物・プリモニジン酒石酸塩配合点眼液は、既存の配合剤と異なり、1剤で3種の眼圧下降機序(主流路からの房水流出促進、副流出路からの房水流出促進及び房水産生抑制)を有する世界初の新規配合剤であり、2022年9月に国内承認となった。そこで我々はリパスジル塩酸塩水和物・プリモニジン酒石酸塩配合点眼液の眼圧下降効果を検討するため、診療録をもとに後ろ向き研究として検討するため本研究を計画しました。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年5月31日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、視力、視野、緑内障病型、有水晶体眼・人工眼内レンズ眼、処方前点眼薬、処方前後眼圧、眼科手術歴、有害事象発生有無

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者	昭和大学医学部眼科学講座	齋藤 雄太
研究分担者	昭和大学医学部眼科学講座	吉見 翔太
研究分担者	昭和大学医学部眼科学講座	三浦 瑛子

既存試料・情報の提供のみを行う機関

野近眼科医院

吉見 裕美子

さいとう眼科医院

齋藤 啓子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部眼科学講座 氏名：吉見 翔太

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8553